

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

2020年4月29日

1級受検番号 NO 03F3620482 氏名 S.A (神奈川県在住)

| |
|--|
| ■1級技能士を目指したきっかけ |
| 一般企業・教育機関・労働需給調整機関等での面談業務やキャリア研修、キャリアコンサルタントの育成業務に従事する中で、指導者として我流になることなく、国家検定制度を通して知識や技量の客観的評価を得ることが必要と考えました。 |
| ■当初の勉強法 |
| 指導者の力量は、指導力とキャリアコンサルティング力が両輪として重要と考えています。事例指導の専門書での学習や優れた事例指導者の教育的指導を実際に受けることで、この両輪の力を高めることに努めました。また、試験科目及びその範囲並びにその細目、面接の評価区分の確認を都度行い、改善すべき課題を整理しました。 |
| ■合格のきっかけ |
| 力量の高い1級キャリアコンサルティング技能士と事例指導のセッションをすることが、教育的指導の意味を理解でき、真の指導力の習得に役立つ、合格に繋がると思います。併せて、事例指導やキャリアコンサルティングの研究会を実施して、ロールプレイングとフィードバックを動画収録して再考し、課題を改善して、実践力を高めたことが有効だったと思います。 |
| ■学科試験の勉強 |
| 技能士1級、2級の過去問で出題領域と傾向を確認し、「キャリアの赤本、青本」で復習する方法を取りました。復読がしやすく、知識の整理に役立つ、学習効果の高いバイブルと思います。また、各種労働関連白書に目を通し、時事問題に対処できる準備をしました。学習日程を組み、計画的な準備によって、知識の補完と理論への理解が深まり、実務的な効果にも繋がりました。 |
| ■論述試験対策 |
| 実技試験として、相談歴1年～3年の事例相談者の面談スキルに役立つ視点、簡潔な表現、育成的プロセスを心掛けました。過去の論述問題を活用し、時間配分と直筆での読みやすさに留意して、記述練習を繰り返しました。「1級実技試験(論述・面接)合格バイブル」と論述問題の添削個別指導の模範解答例は、解答方法と文章構成の参考になると思います。 |
| ■面接試験対策 |
| 事例指導やキャリアコンサルティングのセッションでの動画をフィードバックし、①何が有効で、②何が有効でないか、③何が不十分かを検討し、改善していきました。また、事例指導者として事例相談者とクライアントの双方を援助する視点での学習が重要と思います。口頭試問では、事例指導の内容を教育的指導の観点で自己分析し、解答できる準備をしました。 |
| ■受検される方へメッセージ |
| 事例のクライアントを援助するために、この事例相談者はどのような力をつけたら良いのかを考え、その力が今後の事例相談者の成長に有効で、普遍的なものかを考えた学習を心掛けると良いと思います。受検のための学習と結果は、全てが有益で、専門家としての成長に繋がり、今後の自己研鑽に役立つと思います。 |